

北京市概況

1. 北京市の地理



北京市は中国北部のなかの華北平原北部に位置し、東は天津に接し、東部以外は河北省に隣接している（地図参照）。

北京市の地勢は北西が高く、南東が低い。西部・北部・北東部の三方向は山に囲まれ、南東部は渤海に向かって緩やかに傾斜する平原である。域内を流れる主要河川には永定河、潮白河、北運河、拒馬河などがある。多くは西北部の山間にその源があり、崇山峻嶺を通り、南東へ曲がって平原に流れこみ、最後は渤海に注ぐ。

気候は大陸性気候（気温日変化・年変化が大きく、降水量は少ない）に属し、夏は高温と雨、冬は寒く乾燥し、春と秋は短い。年間の平均気温は13.4度で、年間降水量は585ミ

り程度。

2. 行政区画

16市轄区：東城区、西城区、朝陽区、豊台区、石景山区、海淀区、順義区、通州区、大興区、房山区、門頭溝区、昌平区、平谷区、密雲区、懷柔区、延慶区

3. 基本情報

| 別称 | 北平、燕京、幽州 |
|------------|-----------------------------|
| 面積 | 16,410.54 km ² |
| 人口 | 2185.8万人（2023年末） |
| GRP 総額 | 4兆3,760.7億元（2023年、前年比5.2%増） |
| 1人当たりGDP | 20.0万元 |
| 1人当たり可処分所得 | 81,752元 |
| 輸出入総額 | 3兆6,466.3億元（前年比0.3%増） |
| 実質外資利用額 | 137.1億ドル（前年比21.2%減） |
| 出生率 | 5.63‰ |

（出典）北京統計年鑑、北京市国民経済・社会発展統計公報などをもとに作成

4. 歴史

北京の歴史は春秋戦国時代（B.C. 403年-B.C. 221年）まで遡ることができ、その名称は歴史と共に様々な変遷を経て、現在に至る。

燕都。歴史書によると紀元前1045年、周武王が商を滅ぼした後、燕となる。燕は戦国七雄の一つに数えられ、燕の山に近いことからその名が国に付けられたといわれており、その都は燕都と呼ばれていた。

幽州。幽州は、太古時代の九州の一つである。幽州の名は、最初に『尚書・舜典』に見られ、前後漢、魏、晋、唐代に幽州に都が置かれたことがあり、北京周辺を治めていたとされている。

京城。京城は国の都を指し、北京が首都としての正式名称になってからも、京城と呼ばれることが多い。

南京。遼の太宗（耶律徳光）が即位した会同元年（938年）、幽州を幽都府に昇格させ、南京を建号し、燕京とも称して、遼の陪都とした。当時遼の首都は上京であった。

大都。金の離宮（現、北海公園）を中心に元が新たに築城し、クビライ・ハンが至元9年（1272年）に大都と改名し、俗に元大都と呼ばれた。

北平。洪武元年（1368年）、朱元璋が北朝を滅ぼした後、北朝を平定した功績を記すため

に、大都を北平と改めた。

北京。明永楽元年(1403年)、明成祖朱棣が即位後、北平府を順天府と改め、北京城を建ててここに遷都した。これが「北京」と呼ばれた始まりであり、現在に至るまで600年以上の歴史がある。

京師。永楽18年(1420年)に応天府(当時の首都、現・南京)が正式に燕京に移され、これを京師とした。清朝時代までこの名称で呼ばれる。

京兆。民国3年(1914年)に順天府(清朝の首都行政制度)が廃止され、今の北京のほぼすべてを含む、中央政府直属の京兆地方を設置した。また民国17年(1928年)に京兆地方を廃止し、北京を北平に変更。民国26年(1937年)北平を北京に改称した。

1949年10月1日、新中国が成立し首都を北京とした。

5. インフラ整備状況

5-1 鉄道

北京は中国最大の鉄道ターミナルであり、8本の主要路線—京広線(北京～広州)・京滬線(北京～上海)・京九線(北京～香港)・京包線(北京～包頭)・京通線(北京～通遼)・京哈線(北京～ハルピン)・京原線(北京～原平)・京承線(北京～承德)—をはじめ全国各省への直通列車が運行されている。またこのほか、国際列車として北朝鮮(平壤)、モンゴル(ウランバートル)、ロシア(モスクワ)とを結ぶ路線がある。上海鉄道ターミナル、広州鉄道ターミナル、武漢鉄道ターミナルと共に、中国四大鉄道ターミナルと称されている。

北京市内の主な駅(旅客用)には、北京駅・北京西駅・北京南駅・北京豊台駅・北京北駅・北京朝陽駅などがある。

5-2 空港

北京首都国際空港は北京中心部から約25キロ北東に位置する中国最大級の空港である。1958年に建設が開始され、2008年に拡張工事(第3ターミナル)竣工。4Eクラス滑走路1本、4Fクラス滑走路2本を擁し、国内外252路線が就航している。

1978年から2018年に至るまで、旅客取扱量が103万人から1億100万人へ増加。アジアで第1位、全世界で第2位を記録した。

また、北京大興国際空港が中国建国70周年に合わせ2019年9月に軍民共用として開港した。国内外116路線に就航。2025年には旅客取扱量が7,200万人に到達する予定。コロナ感染症拡大以前は、外国人の144時間以内の国境通過はビザ免除、24時間以内の国境通過は出入国検査手続き免除の政策を実行していた。

6. 開発区について

6-1 国家経済技術開発区 「北京経済技術開発区」

1991年8月15日に北京市人民政府が認可し、建設を開始。1994年8月25日に国家級の経済技術開発区として国務院に認可された。1999年1月に中関村科学技術園亦荘区となる。開発区は北京市中心の天安門広場から16.5km、首都国際空港まで25kmの距離に位置している。

【開発区に進出している一部の外資系企業】

NOKIA、GE、GM、BAYER、SIEMENS、UNILEVER、ABB、TETRA-PAK、DELPHI PHILIPS、HYUNDAI、LOTTE等。

【開発区に進出している主な日系企業】

累計約45社、投資額は約6.6億ドル。

「北京中日イノベーション協力モデル区」

北京市大興区と北京経済技術開発区の間に位置する、総面積10km²のモデル区。2020年10月に国家発展改革委員会の批准を受け設立された。

中日イノベーション協力モデル区管理委員会および北京大興国際商業サービス有限公司によって運営されている。当該モデル区は「イノベーション」をテーマとした全国初の国際協力モデル区であり、北京市の第14次五カ年計画の重点プロジェクトである。

医薬・ヘルスケア、先進産業、デジタル経済を主要3分野とし、日中間の協力・協業を模索している。

6-2 国家級ハイテク技術産業開発区 「中関村科技園区」

イノベーション推進都市機構。日本と中国のベンチャー企業の架け橋としてユニコーン企業の創出を目的としている。中関村は北京を中心とした16ブロックの地域に分けられ、この中に参加企業や研究機関が点在する形で構成されている。総面積は488km²に及び、その規模は東京ドーム10,383個分。

ハイテク企業数：約22,000社 総従業員数：約267万人

総売上額：約93兆円 ベンチャーキャピタル投資総額：1.6兆円

全国イノベーション投資総額割合：24.7%

主力産業：

インターネット／バイオ／ビッグデータ／次世代自動車／移動医療／スマートインテリア／FinTech／インターネット教育／エネルギーテクノロジー／環境サービス／IoT／人工知能等

6-3 保税區 「北京天竺総合保税區」

国務院の批准を経て2008年7月23日に設立。全国に認可された7つの保税港区と3つ

の総合保税区のうち、唯一の空港型総合保税区。

地理的には北京市の北東に位置し、首都国際空港の北側搬入口とシームレス接続しており、市内から 15km、天津港から 160km の距離にある。 周辺の交通網は、空港高速道路と空港高速 2 号線、空港北線、六環高速道路、京承線など 5 本の高速道路、国道 101 号線、順平高速道路、順通高速道路、空港補助道路など 4 つの市道、空港と M15 のライトレール 2 本が整備されている。

総合保税区は南区と北区による構成で、総面積約 6 km²。うち保税区南区（第 3 保税機能区）は、輸出入加工区や空港工業区などを含む総面積約 2.7 km²。北区の総面積は 3.2 km²で、空港物流基地用地（第 2 保税機能区）や通関拠点（空港業務地区・第 1 保税機能区）を含む。

保税区の機能区分として、

空港運営区域は、一次貨物ターミナル、二次輸入管理倉庫、エクスプレスセンター、輸出混載管理倉庫の 4 つの部分から構成される。

第 1 保税機能区は、保税物流センターをベースに拡張され、空港との「(保税) 区と港の連携」を実現させ、主に保税物流を担う。

第 2 保税機能区は、航空機の整備と、貨物貿易・サービス貿易・金融サービス・展示会などの貿易に関わる総合的なサービスの開発に重点を置く。

第 3 保税機能区は、輸出加工機能の保持を深化させながら、電子情報、生物医薬、環境保護・省エネ、光学・機械統合を中心とした航空系ハイテク産業の発展に重点を置く。

税制上の優遇政策がある。

7. 北京市に本部を置く著名な企業

・ 国家电网 (State Grid)

2002 年に設立された中国国家エネルギー安全保障のための特定国有重点企業であり、2022 年フォーチュングローバル 500 で 3 位、財富中国 500 で 1 位を獲得した世界最大級の公共事業企業である。同社は電力網の投資、建設、運営を核心業務とし、安全、経済的で持続可能な電力供給を保障することを基本使命としている。

・ 中国石油天然気 (ペトロチャイナ)

1990 年に設立された上流から下流、石油開発から販売まで一体型の中央政府直轄国有企業であり、中国国内最大の原油、天然ガスの生産・供給企業である。2022 年 8 月 NY 証券取引所の上場を廃止。大慶油田など中国国内に 12 か所の油田を擁する。業務範囲は石油探索生産から新エネルギー開発にいたるまで、多岐にわたっている。2022 年フォーチュングローバル 500 で 4 位。

・ 中国石油化工 (シノペック)

1998 年に設立された、ペトロチャイナと双壁となす中国最大の精製油および石油化学製品のサプライヤーであり、世界最大の石油精製企業である。中央政府直轄国有企業。2022 年

フォーチュングローバル 500 で 5 位。香港、NY、ロンドンおよび上海に上場しているが、2022 年 8 月 NY 証券取引所の上場を廃止。

・中糧集団 (COFCO)

1949 年に設立された中国最大の食糧企業であり、中央政府直轄企業である。2022 年フォーチュングローバル 500 に選出されている。農産品・食品分野のパイロット企業として「畑から食卓までの全産業チェーンを担う企業」としての構築に力を入れている。

・小米科技

2010 年 4 月 6 日に雷軍によって設立されたスマートフォン、インターネットテレビ及びスマートホームエコチェーンの構築を専門とするイノベーション企業。スマートフォンメーカーとして創業し、2013 年 8 月に 10 万台を 1 分 30 秒で売り切るなど数々の記録を樹立。2021 年香港証券取引所において正式に車両製造に参入することを発表。2022 年 4 月、Redmi Note 10T が日本で発売される。

・北京汽車

2010 年 9 月に設立された。北京市政府が掲げた「全市を挙げて自動車産業を発展させ、国内一流の自動車研究開発および製造都市をつくる戦略目標」を実現するために、北京汽車工業株式有限責任公司など、6 つの大型企業が合併して成立した。

・中国船舶重工集団

国有造船企業。中国海軍用の潜水艦、ミサイル艇、駆逐艦、フリゲート艦、水陸両用艇やそれらに搭載する武器や装備、民間のタンカー、コンテナ船などの船の製造、海洋掘削プラットフォームの建造など幅広い船舶関連事業を行っている。

・万達集団

不動産業を中心としたコングロマリットであり、中国国内 110 近い都市での開発や、大型のショッピングモール、高級ホテル、マンション、映画製作などを行っている。また米国での高級ホテル開発や、FIFA のスポンサー、トライアスロン運営企業の買収など、海外への投資やスポーツへのサポートなども行っている。

・中国鉄建

中国最大の建設会社で、中国人民解放軍の鉄道部を元とし、中国のみならず海外において都市開発・鉄道施設・トンネル掘削・高速道路建設・水力発電所建設など様々な大規模建設事業を行っている。

・百度グループ

2000 年に設立されたインターネット検索基盤をもつ大手 AI 企業。中国のインターネット検索シェアでは 1 位で、2005 年 5 月には NASDAQ 市場にも上場している。「百度」の名前は南宋の詩人辛棄疾の「衆里尋他千百度」に由来しており、理想への追求を表現している。自動走行のリーディングカンパニーであり、2022 年 8 月に重慶市・武漢市で無人走行営業開始。

8. その他参考情報

8-1. 友好都市・姉妹都市

1979年3月14日東京都と姉妹都市になった。

8-2. 世界遺産

万里の長城

西周時代（前 1046 年 - 前 771 年）から建築が開始され約 2000 年にわたって増改築が続けられた世界最長の古代軍事防御壁である。東は遼寧省丹東市虎山に始まり、西は甘肅省嘉峪関まで全長約 2.1 万kmに及ぶ。1987 年に世界文化遺産に登録された。

頤和園

清朝乾隆帝が即位前に現在の北京市郊外に清漪園を建設。1860 年の英仏連合軍の侵攻により円明園とともに焼失したが、1888 年に再建して頤和園に改称され、夏の避暑地として親しまれた。中国 10 大古代名建築に数えられ、1998 年に世界遺産に登録された。

天壇

1420 年に建設され、清朝乾隆、光緒帝時代に増改築が行われた。天壇は明・清代においては皇帝が五穀豊穰を祈祷する場所である。天壇が置かれる敷地は北側は円形で南側は四角形だが、これは天地のバランスを整える陰陽思想による。1998 年世界文化遺産に登録された。

北京猿人遺跡

1973 年に北京市郊外の周口店龍骨山にて発見された化石人類の遺跡。科学者たちはこの化石人類を「新洞人」と名付けた。この遺跡発見により北京の歴史は 60 万年以上伸びる結果となり、現在も遺跡調査が進められている。1987 年に世界文化遺産に登録された。

明・清朝皇宮（故宮）

旧称紫禁城。敷地面積 72 万㎡、大小合わせて 70 以上の宮殿を有する。1406 年に建設が開始され、1420 年に完成。明・清朝 24 代の皇帝の住居となった。1925 年に故宮博物院となる。世界最大規模の現存する木造建築群。1987 年に世界文化遺産に登録された。

明の十三陵

北京市中心から約 50 キロ離れた天寿山麓に位置し、東・西・北側を山に囲まれている。陵の部分は平地にあり前面には小河が流れる。1409 年（永楽 7 年）から長陵を築きはじめ、明朝最後の区鄭崇禎が思陵に入ったのを最後に約 230 年間に 13 代皇帝の墓が築かれた。

2003 年に世界遺産に登録される。

中国大運河

中国の 8 つの省を貫き、北は北京から南は浙江省に至る大運河。紀元前 5 世紀前から建設が始まり、後 7 世紀の隋時代には、広大な中国内陸部を結ぶ交通網となった。その後も歴代王朝によって維持拡張され、国民への米や穀物の供給、軍事物資や軍隊の輸送に利用され続けた。

指導者の略歴

北京市委員会書記 尹力（いん りき）

1962 年月生まれ

山東省臨邑（りんゆう）県出身、漢民族

1983 年 6 月中国共産党入党

現職：中央政治局委員、北京市党員会書記

学歴：ロシア医学科学院シエマシユク社会衛生、経済・衛生事業管理研究所修了、医学博士

【主な略歴】

1993 年 11 月 - 国務院研究室教科文衛司 幹部

1994 年 11 月 - 同 副処長

1997 年 04 月 - 国務院研究室社会発展研究司処長

1999 年 12 月 - 同 助理巡視員

2001 年 03 月 - 中央党校中央国家機関分校にて学習

2002 年 08 月 - 米国ハーバード大学訪問学者

2006 年 01 月 - 中央党校 1 年制中青年幹部育成クラスにて学習

2006 年 07 月 - 衛生部弁公庁主任

2008 年 09 月 - 衛生部副部長、党組成員

2012 年 02 月 - 衛生部副部長、党組成員、国家食品医薬品監督管理局局長、党組書記

2013 年 04 月 - 国家食品医薬品監督管理総局副局長、党組副書記、国家衛生・計画育成委員会副主任

2015 年 03 月 - 四川省委副書記、宣伝部部長

2016 年 01 月 - 四川省委副書記、省長

2016 年 02 月 - 同上、省政府党組書記

2020 年 11 月 - 福建省委書記

2021 年 01 月 - 同上、省人大常務委員会主任

2022 年 10 月 - 中央政治局委員、福建省委書記、省人大常務委員会主任

2022 年 11 月 - 中央政治局委員、北京市委書記

北京市市長、市委副書記 殷 勇（いん ゆう）

1969 年 8 月生まれ

湖北省武漢市出身、漢民族

1994 年 5 月中国共産党入党

現職：第 20 回中央委員、北京市委副書記、市政府党組書記、市長

学歴：清華大学工学系研究科修了、工学博士

【主な略歴】

2016 年 12 月 - 中国人民銀行副行長、党委員会委員

2018 年 01 月 - 北京市政府副市長、党組成員

2018 年 12 月 - 北京市委常務委、市政府副市長、党組成員

2022 年 06 月 - 北京市委副書記、市政府副市長、党組成員

2022 年 07 月 - 北京市委副書記

2022 年 10 月 - 北京市委副書記、副市長、代市長、市委党校（北京行政学院）校長（院長）、市对外友協会長

2023 年 01 月 - 北京市委副書記、市長、市委党校（北京行政学院）校長（院長）、市对外友協会長

中国共産党 20 回党大会代表、第 20 回中央委員、第 14 回全人代代表、中国共産党北京市代 13 回委員会委員、北京市第 16 回人民代表大会代表

かつて国家外為管理局予備管理司予備管理处副処長、戦略研究処副処長、中国投資公司（シンガポール）総経理、国家外為管理予備管理司副司長、中央外為業務中心主任、中国人民銀行行長助理を歴任。